

今後の区民景観セレクションについて

目次

1. 目的・課題
2. 過年度の景観審議会での意見
3. 事務局案

港区都市計画課 街づくり計画担当

1. 目的・課題

目的

- 港区区民景観セレクションについて、100選の選出を一つの節目として捉え、現状の区民景観セレクションではない、別の景観啓発の仕組みを創出

課題

- 応募される景観の重複が散見することから、別の在り方を検討する必要性
- 過年度の景観審議会の中でも、今後の在り方について言及あり
→事務局案も提案しつつ、景観審議会の中で検討を実施
→これまでの景観セレクションの趣旨である、区民の景観啓発という考え方は継承
- 100選に向けた対応
→パンフレットは、学校・駅・支所など様々な場所に展開し、HP・X・Lineで周知
→募集開始期だけでなく、応募期間が短くなったタイミングでも再度SNSで周知



2. 過年度の景観審議会での意見

主な意見

- 過去の**受賞作品も紹介**した方がよい。
- 極力**これまでの応募作品と被らないような工夫**をした方がよい。
- これまでに88作品が選ばれているが、**裏を返せば落選している作品も相当数ある**ということである。これまでに落選した作品はアーカイブされているのか。
- 区民景観セレクションの今後の取組を考えていく際に、**選出されていない作品の価値を考えていかなければいけないのでは**ないか。
- 公園などは緑が育ってきて、**時間が経ってから評価されるもの**などもある。
- 地区ごとに**応募数の集計を行い、マッピング**しても良いのではないか。
- 構造が多面的になったことによって、歩いていくというのが、ビルの中に入って、エスカレーターで上がって、また外に出て、また入ってという、**景色がどんどん変わっていき**、そこで和む場所も。それぞれ違う場所がたくさん作られているという、**一つの流れみたいなものを評価**することができないか。
- 一つの流れは、**1枚では切り取れない**ため、アイデアとして、10回終わったら次ぐらいに実施してはどうか
- これまでの選定委員会でも、ワンシーンで収まらず、**複数の写真でこの場所の良さを実現**するという方法も意見として出てきたことがある。
- 上記について、**歩いて発見**があるということもあったので、そういう意味ではすごく面白いと思う。
- 百選に到達したときの**啓発活動をどうするか**、ということで課題にさせていただきたい。

➡**受賞作品のみならず過去の応募作品もくみ取れる仕組み**

➡**景観を流れとして考えられる仕組み**

3. 事務局案

①アーカイブ化

(1) 写真のアーカイブ

- 過年度の景観セレクション受賞作品や応募作品を一元的に見れるように視覚化
 - HP上で誰もがいつでも閲覧できるもの
 - 電子マップ上に過去の受賞作品、応募作品を落とし込む
 - 生成AI等で作成することは難しいため、委託を行う必要

(2) 動画のアーカイブ

- 景観を1枚の写真で評価せず、歩く中で景観の移ろいを感じてもらえるように映像化
 - 第6回～第10回までの受賞景観を対象とし、以降は地区毎に選定するなど
 - 生成AI等で作成することは難しいため、委託を行う必要

3. 事務局案

②通年受付化

- ①（１）でアーカイブ化したデータをベースに、誰もが通年で申請できるシステムを構築
 - 電子申請で新たな景観を区民がマップ上に落とし込む
 - 新たな申請は、違法性等のチェックを行う必要があるため、少なくとも担当のチェックが必要
 - 審査会等を設けるとこれまでと同じになってしまうため、あくまでも簡易にできる仕組み
 - 落とし込む写真データの上限等（枚数）を設定することで、データが膨大になることを防ぎ、システムの処理落ちの無い、アクセスし易い体制を構築

③これまでのフィードバック

- これまでのセレクションについて区民からフィードバックを得て、今後の在り方の参考にしていく
 - まずはアンケート（LoGoフォーム活用）を通して、意見の吸い上げを検討（設問例）
 - ・ 区民景観セレクションの認知度（知っている場合何で知ったか）
 - ・ 景観セレクションの良かった・印象
 - ・ 改善すべき点今後重視すべき要素
 - ・ 実際にセレクションや各パンフレットに掲載された景観を見に行ったことがあるか